

子どもから高齢者まで、元気な地域づくり

三重地区社会福祉協議会

No34

《発行日》令和5年7月1日

《連絡先》社協 地域福祉課 Tel.22-6677 fax22-3118

※戸別配布用 大事に保管して下さい。

令和5年度テーマ **支え合い みんながつながる地域づくり**



～会長あいさつ～ 三重地区社会福祉協議会 会長 赤星 成實

昨年度に引き続き、会長を仰せつかりました、赤星成實です。三重町の皆様には、日頃より地区社協の活動に対しまして、ご支援ご協力を頂きまして、誠に有難うございます。新型コロナウイルス感染症も、第5類に引き下げられ経済活動も活発になっております。

しかしながら、コロナが消えてしまったわけではありません。高齢者や持病を持たれている方々は、これまで通り対策は必要と思われまます。

昨今では、少子化や高齢化が進んでおり、福祉を取りまく環境も様変わりしております。「住み慣れた地域で安心して暮らせる、みんなで支え合う地域づくり」を構成団体や関係機関との連携を図り、進めて参りたいと考えております。

地域の皆様には、任期の間、精一杯努めていきたいと思っておりますので、今年度も三重地区社会福祉協議会に温かいご支援をよろしくお願い致します。

市社会福祉協議会と地区社会福祉協議会の違い



社会福祉協議会（社協）って名前は聞いたことがあるけど、何をしよるところなん？
いつ頃できたんかな？

社協は地域での福祉活動を推し進めることを目指した**営利を目的としない民間組織**なんです。

地域の人々が住み慣れたまちで安心して生活する事のできる「福祉のまちづくり」の実現をめざし、様々な活動を行っていますよ。



社協の成り立ちは、昭和26年1月にGHQの提案のもと「中央社会福祉協議会」が設立されたのが始まりなんです。

昭和28年11月には「大分県社会福祉協議会」が法人化され、市町村社協の法人化が進み、県内では昭和41年に大分市社協と**三重町社協が最初に法人化されたんですよ。**

そして、平成12年には「**地域福祉の推進を図る組織**」として社会福祉法に位置づけられた民間組織となったんです。



豊後大野市社会福祉協議会（市社協）と三重地区社協は何がちがうん？

地域をもっと住みやすくするために、**地域みんなで協働して取り組むということについては「市社協」も「三重地区社協」も同じなんです。**

地区社協と市社協の違いをまとめたものを、次のページに載せているのでご覧くださいね。三重地区社協は、**福祉コミュニティづくりに欠かせない組織**であって、**法人格をもつ市社協と協働して地域福祉をすすめているんですよ。**



三重地区社協は豊後大野市社協の下部組織と思っていたけど違いがあるんやな。
違いはあるけど2つとも地域には欠かせない組織ということなんやな。地区社協のことについてもっと詳しく知りたいなあ～

地区社協の歴史や詳しい事は次号の広報紙で説明しますね。
おたのしみに～。



豊後大野市社会福祉協議会

三重地区社会福祉協議会

位置づけ

社会福祉法に位置づけられた民間団体

・市の社協は民間団体ですが、社会福祉法（第109条）に規定された、地域福祉の推進を図ることを目的とする団体として位置づけられています。

福祉推進の自主組織

・法的な位置づけはありませんが、住民の皆さんの主体的な地域福祉活動を推進する任意の団体になります。
市内では三重地区社協以外に旧町村ごとに地区社協が設置され、市社協は活動の支援を行っています。

対象地域

市全体

・市全体を視野に入れ、幅広い地域を対象にしています。

地区（旧町村）※自治体ごとに範囲は異なります。

・三重町を範囲の対象にしています。

取り組み

福祉コミュニティ社会づくり

・全市的な福祉課題・ニーズへの取り組みや住みよい地域づくりを実現するため以下の事業に取り組んでいます。

- ・地域福祉事業（いきいきサロン、ボランティア養成、小地域見守り活動、民生委員や老人クラブ事務局など）
- ・介護保険事業（ケアプランセンター、デイサービス、ヘルパーステーション）
- ・市からの委託事業（生活支援ハウス、生活困窮者自立支援、成年後見支援センター、地域包括支援センター） など

住民互助活動の取り組み

- ・三重地区社協では「支えあい みんながつながる地域づくり」をテーマに以下の事業に取り組んでいます。
- ・サロンのつどい
- ・福祉ネット会議（町内8ブロック毎で地区の福祉リーダーを対象に、地区の現状共有と、支え合いの地域づくりを推進するための会議体）
- ・ひとり暮らし高齢者おたのしみ袋配付事業
- ・市社協事業への協力（赤い羽根共同募金運動、地域福祉推進大会 など）

肝煎二区 福祉とくらしの座談会

日付：4月20日 場所：肝煎二区公民館



地域の声を直接聞き、その地域の課題を市や社協などの様々な機関で情報共有し、地域の皆さんと一緒にできることを考え話し合う座談会を肝煎二区で行いました。区長、民生委員、福祉委員などの役員さんと多くの意見や情報を共有でき、地域の課題を新たに発見することができました。

今後も話を重ねていながら皆さんの思いが形にできるよう、市も社協もサポートしていきたいと思えます。

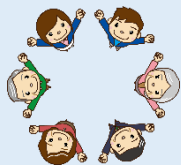


豊後大野市・豊後大野市社協・三重地区社協では、自治区単位での「福祉とくらしの座談会」を進めています。地区内で声がかかりましたら是非とも参加していただければと思います。

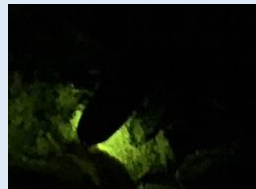
令和5年度三重地区社協構成員紹介

会 長	赤星 成實	三重町区長会 会長	
副 会 長	後藤 政義	三重地区民生児童委員協議会 会長	
副 会 長	小野 征子	日赤奉仕団三重分団 分団長	
幹 事	佐藤 英介	三重町区長会 副会長	
監 事	神志那 正	三重町ボランティア連絡協議会 会長	
監 事	佐藤 敏郎	三重町身体障害者福祉協議会 会長	
菅尾地区部会長	神田 聖弘	菅尾地区幹事（企画部会）	
百枝地区部会長	阿南 吉宏	百枝地区幹事（企画部会）	
中央地区部会長	押川 正直	中央地区幹事（企画部会）	
西部地区部会長	佐藤 賢一	西部地区幹事（企画部会）	
東部地区部会長	赤嶺 元	東部地区幹事（企画部会）	
南部地区部会長	小野 忠	南部地区幹事（企画部会）	
新田地区部会長	佐藤 孔治	新田地区幹事（企画部会）	
白山地区部会長	佐藤 英介	白山地区幹事（企画部会）	
委 員	羽田野 紀明	市老連三重町支部 支部長	
委 員	麻生 英征	三重町サロン連絡会代表	
委 員	飯塚 美知子	三重地区民生児童委員協議会 副会長	
委 員	川越 浩二	豊後大野市消防団第1方面団 団長	
委 員	村上 正典	教育保育協議会 代表	
委 員	神田 和男	地域福祉に関心を持つ者	
委 員	安藤 義隆	豊後大野市役所 高齢者福祉課	
広報部長	高野 幸雄	地域福祉に関心を持つ者	
広報部員	管原 久徳	地域福祉に関心を持つ者	

一年間、よろしくお願いたします！



編集後記



撮影地：白山（ホタル）



撮影地：芦刈（空、田んぼ）

雨上がりの夜空に天の川が綺麗に見える季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。気温の変化も激しく、体調管理には十分に御注意いただき、「かぜ」だと軽く考えず睡眠・水分補給はしっかり行いましょう。

三重地区社会福祉協議会も年度替わりで役員の変更がありました。役員の集合写真・役員名簿・会長挨拶等掲載いたしますのでご確認ください。

また、三重地区社会福祉協議会の総会では構成員の方々より「豊後大野市社会福祉協議会の役割」「三重地区社会福祉協議会の役割」「社会福祉協議会の会費について」「広報紙を通じてまだまだに町民の皆さんに知ってもらわなければならない」との意見をいただきました。

早速、「豊後大野市社会協議会の役割」「三重地区社会福祉協議会の役割」について少し記事を掲載いたしました。三重地区社会福祉協議会広報紙の発行も、赤い羽根共同募金助成事業より貴重な募金を助成していただいております。「子供から高齢者まで、安心して暮らせる地域づくり」に少しでも貢献できますように、紙面の企画に記事の取材等「夢と希望を持って編集致します」。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

広報部 部長：高野 幸雄、委員：管原 久徳、担当：石井 咲也、田邊 正明

この広報紙は赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。